

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東横2-18-13 tel. 052-601-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

18 5

名古屋園芸



ペチュニア (八重咲) 西洋草花図譜より

西洋草花図譜 谷上廣南著、大正六年(1917)芸林堂刊 五巻五冊 内夏の巻
本書は題名の通り、明治、大正期には欧米から多くの園芸植物が導入された。
現在も盛業の日本を代表する種苗会社、サカタのタネが「オールダブルペチュニア」を開発し、一躍世界のサカタを躍進したのは有名な話、種子代は金の代金より高値であったとか。 亮軒記

観葉のコーディネート術



① ロマンティックピオニーアレンジ ¥4,000 +税



② エレガントピオニーアレンジ ¥5,000 +税

バースデーフラワー

～シャクヤク～

風薫るさわやかな季節になりました。通行く春に夏の訪れを感じるこの時期旬のおすすめ、シャクヤクメインのフラワーギフトはいかがでしょう。シャクヤクとは5月～6月の初夏に咲くアジア原産の多年草。「立てばシャクヤク、座ればボタン」といわれるように、高貴な美しさを形容する花の一つとされています。つぼみの時から想像もできないほど大きく咲く姿がとても人気です。



③ スイートピオニーブーケ ¥3,000 +税

このような過程を経て、現在では多種多様なシャクヤクが存在するに至りました。一重咲き、半八重咲きのほか、雄しべが花弁のように変化したもの。その変化の度合いや形によって金しべ咲き、鶏咲き、冠咲き、手まり咲きに分けられ、また、バラ咲きや半バラ咲きと呼ばれるタイプもあります。花色は紅色や桃色のほか、紫紅色や白、黄色などがあり、ギフトのバリエーションをより一層膨らませてくれます。

そんな魅力あふれる高品質なシャクヤクにめぐり会えるのも1年を通してこの時期だけ。今月バースデーを迎える方への贈り物はシャクヤクで彩られた豪華でエレガントなフラワーギフトはいかがでしょう。

information

これからのオススメ! 『花の講座』

今夏も「なごや美 朝顔まつり」と題して、風流なあんどん作り入谷風朝顔を販売する朝顔市、ご当地名古屋発祥の盆栽風仕立の「名古屋朝顔」の実際展示が当社にて開催されます。それに先駆けて、朝顔をタネからご自分で育てていただける花の講座をご案内します! 誰しもが一度は育てたことのある朝顔の、実はとても奥深い魅力が楽しめる2講座です。

講座No.33 身近な大輪種から変化朝顔までアサガオを楽しみつくす (3回講座)
5/20・6/10・7/29 日曜日 13:30~14:30

講座No.34 名古屋発祥 100年の技名古屋朝顔を楽しむ (1回講座)
6/24 日曜日 13:30~14:30



◇お申し込みは
花の講座専用電話 TEL: 052-937-3391
受付時間 月~金曜日 9:00~17:00
Webでのお申し込みは24時間OK!

名古屋園芸 | 観葉 | はこちらからもどうぞ →



花の博物館 第268回

鯛百珍料理秘密箱 上下二冊

著者 膳土堂主人著
天明五年(一七八五) 京都西村市郎右衛門他刊
昭和五三年福川書店復刻版

鯛百珍料理秘密箱 上

鯛百珍料理秘密箱 下

先ず本書の序文を紹介しよう。
「此書鯛一味をもつて、百いろに分つといえども、更に言をたくみにし、文をかざるにはあらず、唯いしへより、名家に秘したる書を採り、并に諸國のめいぶつ、あまねくあつめて粹にちりばむ、珍しからずや愛を以て秘密箱と稱す。世に料理の書多しといへども、誰をもつて馬といふごとくにはあらず」
干時天明五のとし、きとのみの季秋、景甫書

料理方の第一に、
「紅粉鯛之仕方」
一、鯛を三枚にをろして、よく洗らひ皮をひき中の血骨を去り、さしみならば、右魚をつくり木どりにして、にへ湯に入れてすぐに引上げ、しゃらんにに漬をけばよく染申候。通方はさし、小皿もの、搦重には、切がさねの上にあき塩をふり候へば、なをなをつつく候。
紅に塩けあれば、色あしく候、し併塩を能あらひ、上皮に少し紅をぬる也。紅王金魚、紅鯛、紅きす、鯛、下でも、右の通り。
以上「紅粉鯛」のごとく、上巻は四十六品、下巻は五十七品の料理法の記述がある。

半日陰にも強いぞ

シェードコンテナ



① インパチエンス (八重咲フィエスタ)



② ベゴニア センパフロレンス

いままでの寒い季節はお日さまの出ている時間が短く、日に当たっていない花の数が少なくなったり枯れてしまったり、なんてことがありましたよね。しかし、暖かくなってきたこれらの季節は安心です! 日陰にも強い花が続々と出てきます。中でも名古屋園芸のスタッフがオススメする3つをご紹介します。

まずはインパチエンスです。インパチエンスは初夏から秋まで咲く一年草です。直接日にあたるのが苦手ですが、半日陰で育てます。高さもそれほど大きくならず、ひざ丈位です。白やピンク、一重咲きや八重咲きとバラエティに富んでいるのでイメージしている寄せ植えに合う一品が見つかるはず。ただしサンパチエンスという品種は日陰では育てられないので要注意! 次にトレニアの中でもブルーリバーという品種です。こちらは春から秋ま

で長く咲く一年草。日向でも日陰でもどちらでも育てられる丈夫さが魅力。丈夫なおかげで、簡単に切り戻して形を整えることができます。また、横に伸びていくタイプなので寄せ植えのグリーンに代わりとしても活躍します。最後にベゴニア。ご存知の方も多いと思います。代表的なセンパフロレンス、八重咲と品種改良が進み、種類豊富で個性様々です。これから暑くなると太陽の光が強すぎて葉が焼けたたり、茎が倒れたりしてしまいます。そのため暑い時期は明るい半日陰で育ててください。

北側にも花を置きたい! そんな方が多いらっしゃるのではないのでしょうか。これからの季節なら日陰(シェード)で育てる花は育ちます。日当たりがあまり良くない! そんな場所でも、もう大丈夫。たくさん植えてめいっぱい華やかにしましょう。



③ トレニア (ブルーリバー)